

東京

千代田 中央 新宿
港 文京 品川 北
目黒 大田 世田谷
渋谷 中野 杉並
豊島 板橋 練馬

速報や写真・話題の提
供、催しなどの連絡先
朝日新聞 東京総局
〒100-0011

千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル3階
☎ 03-3508-0390
fax 03-5157-0615
mail tokyo@asahi.com

購読・配達のご用は
☎ 0120-33-0843
(7:00~21:00)

広告のご用は
☎ 03-3547-5552
折り込みのご用は
☎ 03-3544-7621

きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時

10 大手町 30

10 練馬 20



①「おかしのみちおか中目黒店」で商品を袋詰めして渡す②和食器の「陶泉房」で自分の好きな製品を包む練習



子どものやりたい! 応援

店員になりたい! 18年目

「いらっしゃいませ」——。目黒区中目黒の目黒銀座商店街に7日、元気な声が響いた。中目黒小の3年生が「店員」となる18回目の「お店体験」。学校と地域の信頼の絆を強めたこの試みは、区内のあちこちの小学校へと広がっている。

午後1時過ぎ。エプロン姿や制服姿の3年生約90人が商店街を訪れた。コンビニや花屋、本屋、八百屋など26店。

和食器の「陶泉房」では、好きな食器を自由に選び、新聞紙で包装する方法を教わった。小さなおちょこから一抱えもある大皿まで数十点。視察に訪れた母親から「割らないでよー」と、声が飛んだ。

店主の妻関根久恵さん(63)は、試みが始まった当初、児童をどう扱えばよいのか悩んだというが、「包み方を教えると、

目黒銀座商店街で小3が体験

『もっとやりたかった』と手紙が来るようになって。こちらも楽しんでます」。割った児童はまだ一人もないそうだ。

スーパー「北野エース」では客を相手に実際のレジ打ち体験。指導したアルバイトの石野純さん(21)は中目黒小の卒業生で13年前に金物屋で経験した。「自分もかつてはこうだったのかと感無量でした」

「雷神堂」で素焼きせんべい10枚を焼いた星野哉大くん(8)は「簡単そうに見えたけど、熱くて熱くて」。どの児童も目が輝いている。

中目黒小が目黒銀座で「お店体験」を始めたのは1997年。商店街協同組合の古谷順一理事長(56)は当時、組合の青年部長。「商店街の社会貢献になる」と理事会で受け入れを提案したが賛同を得られず、「1人でも店を

集めて実施する」とミエを切った。約10店が参加してくれた。

学校の報告会に商店主らが呼ばれるようになり、商店街主催の祭りで児童が踊ったり、楽器演奏で出演したり。総合的な学習の時間を使っての「お店体験」も恒例の行事となった。

「お店体験をきっかけに商店と子どもや親との間にコミュニケーションができた。続けていく価値があると思った」と古谷さん。

活動は他校へも広がる。2005年からは烏森小が目黒銀座で「お店体験」を開始。中目黒小の副校長から烏森小の校長となった宮下徹子さん(61)が商店街に協力を依頼した。「感謝される貴重な体験。社会で役に立てて良かったという記憶は心に残り、生涯の支えになる」と宮下さん。

区教委によると、商店街で「お店体験」をする小学校は、鷹番小や月光原小など22校中10校にのぼる。(斎藤智子)



③花屋でコサージュを作る
④「熱い、熱い」と言いながら「雷神堂」の素焼きせんべいを焼く
⑤コンビニの制服を着て商品の整理＝いずれも目黒銀座商店街